



発行責任者 大倉光男 (18期生)
題 字 駒井妍和(聡)(25期生)

頑張る同窓生

ブローハン聡さん (57期 平成20年卒業)

今回の【頑張る同窓生】は2021年に《虐待の子だった僕》をさくら舎より出版したブローハン聡さん。11歳の時に児童養護施設に入り、杉並第九小学校・東原中学校に通学していました。2021年11月に杉並第九小学校にてゲストティーチャーとして講演をしたあとに、母校の東原中学校を訪ねてくれました。そこで、現在の活動について、また当時の思い出を語っていただきました。



当時の部活顧問の渡邊泰祐先生と

*現在の仕事と活動。そのきっかけは？

現在は大きく分けて2つの活動をしています。1つは社会的養護を離れた若者達の支援です。支援員は埼玉県にある『一般社団法人コンパスナビ』に勤め

- ・運転免許の取得支援。
- ・就労や住居探しの手伝い。
- ・児童養護施設にいらっしゃるうちから様々なイベントを通して繋がること。
- ・児童養護施設を出た後(原則18歳)なかなか気軽に戻れないので、週末にふらっと寄ることが出来る『居場所事業クローバーハウス』を埼玉県から受託し運営。

居場所支援には特に力を入れていて、社会に出ても同じような背景を持った若者達が気軽に集い皆の心の拠り所になり孤立しないようにしています。

もう1つは経験者、当事者として世の中に認知や啓発の発信活動をしています。当事者の活動としては、私自身が幼少期に受けた虐待の事や児童養護施設にいた経験を話す事で、自分ごとではなく社会問題であると発信をしています。発信は主に動画媒体での情報発信と講演会です。情報発信は児童養護施設出身の3人によるYouTube情報発信番組『THREE FLAGS(スリーフラッグス)～希望の狼煙～』という番組を通して自身の体験を語り、同じような境遇の子達やまだ施設にいる人や出た後に困っている人、そして渦中の子供達に希望をこめて送る情報発信のコンテンツを作っています。同時に社会的養護に関心を持つと、社会構造の問題を考える事に繋がるので関心や思いある方や何かできる事をしたいという多くの大人にもアクションを起こす事に繋がるような発信をしています。現在約6,500人のチャンネル登録者数がいて動画を視聴する度に発生する広告代の一部は若者を支援する団体に寄付される仕組みとなっています。

他にも小学校の教員向けに虐待防止研修経験を伝える機会があれば講演をしていたりしています。現在の活動の前はバックパッカーや芸能活動をしていた関係で、モデルの仕事や弾き語りやピアノ、ギターを用いて歌いびとになるなど、色々な仕事に携わらせていただいています。

*本を執筆することになった経緯は？

この活動始めたのは3年半前の2018年からです。当事者が自身の生い立ちを顔だして発信する事は今まで少なかったようで、活動後一気に取材が入りました。少し落ち着きましたが現在でも取材が月に1本は入るほどです。色々なメディアが取り上げていただく中で出版社からお声がけ頂き自身の生い立ちを本でまとめないかといわれ、実は出版するかを悩んでいました。私自身活動して3年とまだ何も残せていないし、本は偉大な方々が出しているイメージだったので、まさか自分が本を出すなんて微塵も思わなかったからです。現在の通過点を記録したら良いとか、出版社から本を出版することで良いイメージになるなどとアドバイスをもらい2年かけて出版することが出来ました。



*東原中学校時代の思い出は？

東原中学校では学校生活が楽しかった記憶があります。今回 14 年ぶりに母校の門をくぐり、遅刻ギリギリに裏門の大きな桜の木を見ながら登校した記憶がふと蘇りました。

当時は球技大好き少年で、昼休みや放課後に校庭でバスケットをするのが大好きでした。当時のドラマの『ブザービート』の主演の山ピーに憧れてバスケットをやっていたのですが、シュートを決めると教室の窓から後輩の黄色い歓声上がる瞬間が青春だったなあ～と思います。

混声合唱団に誘われて所属していたのも凄く楽しかったです。音楽の先生やイケメンの先輩が歌も楽器も出来る姿を見てすごく憧れていました。より音楽が好きになり今でも趣味で音楽を続けています。

当時の音楽の先生であり、吹奏楽部・混声合唱団の顧問だった渡邊泰祐先生が副校長先生としていらして、お会いすることが出来たことがものすごく嬉しかったです。

14 歳の時に母親が亡くなりしんどい思いを抱えていましたが誰にも言わずにいました。中学 2 年生の時の担任だった先生が卒業間際に「卒業おめでとう。色々本当に大変だったけどよく頑張ったね。」と肩を掴んでいってくれました。さりげないその一言に包み込むような優しさを感じ、誰にも見せずにいた張り詰めた心が一瞬ほぐれて帰り道に涙したのを覚えています。事情は知っているけれどそっと見守り、気にかけてくださっていたことを嬉しく思いました。

その先生がもしこの記事を読んでくださっていたらこの場でお礼を伝えたいです。

「ありがとうございました。」

*これからの夢は？

大きく 4 つに分けて今後を考えています。1 つ目は、今行なっている活動で少しでも虐待家庭が減り、子も親も幸せに豊かになること。2 つ目は、自分のルーツのあるフィリピン貧困問題に携わること。3 つ目は、私自身写真 1 枚から色々な事に気付かされて人生が左右されました。写真、言葉、音楽を通して表現し世界観を残していつか誰かのきっかけになりたい。4 つ目は、世界中回りたくさんの家族に触れて自分の家庭を築きながら大好きな仲間達に囲まれて生活をしたい。これが今後の夢です。

★インタビュー後記

ブローハン聡さんは今回のインタビュアーの二女と同級生でした。当時のイケメンぶりにお母さんファンも多かったのでは？赤裸々に綴られた著書を読み、大人としてあまりにも無知だったことを思い知りました。また、児童養護施設での生活についての理解が深まりました。大きなテーマを掲げて生きている様には心をうたれ、少しでも手助けが出来たらと思い著書の紹介も兼ねてインタビューさせていただきました。(インタビュー：駒井 聡)



野田 敏さん (34 期 昭和 60 年卒業)

1985 年に東原中を卒業した後、医療福祉の分野に進み、現在は最重度の障害児者の施設で専門職として医療、介護、保育等の支援をつないでその人らしい毎日を模索し提供することを主な業務にしています。抵抗力の弱い利用者様にとってもこのコロナ禍は大変です。私達が外からウイルスを持ち込んではいけないので、病棟内外を区切って、病棟に入る時は徹底消毒し、PPE 防護服で入って感染予防しながら働くのですが、リスク対策でかわりや支援は最低限に抑えられ、ご家族との面会も中断となりました。高齢のご家族も多く直接会って触れあえないことが本当に辛そうです。一日も早く事態が収束してまた皆が笑顔でつながれる日が戻るよう心から願っています。同窓生の皆様もお体に気をつけて、今を大事にしながらかん張り頑張ってコロナ禍を乗り越えていきましょう。



佐藤 信夫さん (46期 平成9年卒業)

東原中学校を卒業してから 25 年ほどが経ち、私は今現在、ベトナムのホーチミンで暮らしております。小さな会社を任されており従業員 6 人（全員 20 代のベトナム人女性）で前職勤めておりました IT 系のカプトムシの香りがする男性に囲まれて仕事していた頃とは 180 度違う世界で生きております。中学生の当時から海外に出たい気持ちは強かったのですがお恥ずかしながら 40 歳にしてようやく海外で暮らせるようになりました。東原中学校は自由でのびのび出来て居心地の良い学校であったと記憶しております。私は未経験にも関わらず 2 年生から野球部に入り楽しい時間を過ごしました。当時、熊野先生ご指導のもと活動しておりましたが、部活動自体を生徒に任せる方針で自由に活動させてくれました。日大二高を相手に引退試合でバットを振らずにフォアボールを狙えという指示に、目を瞑って思いっきりバットを振ったらエンタイトル 2 ベースを打てた事は今となっては良い思い出として心に残っております。今でも同級生同士、Facebook などを通じてたまに連絡を取ります。スイスで時計職人やっていたり、タイでキックボクシングジムを経営していたり、お料理本でグルマン世界料理本大賞を受賞して広く日本文化を世界に発信していたり、俳優で女性に夢を与え続けてたりと言い出せばキリがないほど多彩な友人たちと楽しい東原中学校で生活できた事は生涯忘れないのだと思います。また日本で皆に会える事を楽しみにしています。



志賀 高志さん (49期 平成12年卒業)

二人の出会いは 7 歳・・・杉九小、東原中と同級生だった私達。ただ、2 人同じクラスになったことは一度もなく、互いの存在をあまり知らないまま青春時代を過ごしました。ちなみに、中学時代、妻香葉はバスケット部、夫高志は野球部でした。特に接点もないまま高校卒業し、大学時代にお互い地元の友達を介して再会しました。夫高志がよく遊んでいた、野球部×2、バスケット部×2 の男 4 人組が、懐かしいあの人に会いたい！（思春期ならではの女子にも会いたい！）と連絡を取り合い開催したプチ同窓会でした。そこから何かとよく遊ぶように。皆で阿佐ヶ谷で飲み歩き、カラオケに行ったり、旅行に行ったり、誕生日祝いに、それぞれの誕生日ごとにアルバムや色紙を作ったりもしました。当時はお互い友達のくくりだったので、あまり意識はしていませんでしたが、長年友人関係が続く中、ひょんなことから 30 歳の時にお付き合いが始まりました。そのままなんやかんやと愛を育み、33 歳で結婚しました（笑）今年 1 月には待望の第一子が生まれ、地元下井草で 3 人で暮らしています。産まれてから 37 年、出会ってから 30 年、今振り返っても、不思議な縁だねーとよく話します。これからも、仲の良い夫婦でい続けたいと思います。



「美しい街」

清水 勇気さん (60期 平成23年卒業)

通学路には川が横たわり、川沿いの茂みにオレンジ色の果実が成った木が育っていた。橋の上から見下ろす妙正寺川は薄汚く、浅深の度合いは 15 歳の私からは測れないようだった。私自身は確かにその席に着いていたけれど、中学時代を想う時、浮かぶのは風景ばかりで、友の輪や授業や部活動に正しく参加できていなかったのではないかとふと居心地悪さが残る。

昨年、空いた時間で臨時教員の仕事に就いたのは、当時の担任であった沖山篤先生に声をかけられたからであった。場所は中央線を乗り継いで 2 駅ほどの郊外の中学校で、少ない時間で接した 100 人余りの生徒達の名前は未だに聞き馴染み深く、それは嬉しい日々であったが、教室の様子を生徒の外側から見る体験は驚くものだった。みな、子どもだったからだ。無理に同調したり、意地を張ったり、驕る必要はないから、自分の中にある正しさや美しさを育み信じる方がいい。私が半年間の臨時教員中に話した言葉はどれも、当時の自分に投げたかった言葉らしかった。実家を離れて随分経つが、卒業から 10 年経った今、妙正寺川はどう見えるだろうか。



学校支援本部で頑張る同窓生

18期 蜂須賀裕子さん

生活の中のツールが変わっても子どもの心はそんなに変わってない—これが活動を通して「半世紀前の中学生（私）」が感じたこと。親でも教師でもない第三者のおとなと接して半世紀後の未来は「そんなに悪くないな」と思ってくれたらうれしい（これは欲張り?）。

18期 中島洋樹さん

メインは、定期試験前自習学習の見守りボランティアです。未だ定期試験対策に慣れず焦り気味な1年生を見ると、思わず頑張れと応援したくなりますよ。皆さんも、一緒に応援ボランティアしませんか！

24期 草 淳子さん

コロナ禍の中30数年働めた都立高校を退職した後、同窓生に誘われて学校支援ボランティアを始めました。今、学校現場はほんとうに大変です。先生方が少しでも余裕を持って生徒に向き合えるよう、お手伝いできれば、と思います。

61期 中村諒平さん

テスト前の学習支援に始まり、修学旅行の介助員などさまざまな経験をさせていただき、大学の講義では知ることができない、中学校現場の様子を直に感じる事ができました。現在、都内中学校にて勤務しておりますが、東原での経験があって今の自分があるとおもいます。

25期 佐伯幸四郎さん

1976年に卒業以来、約45年ぶりに支援ボランティア活動を通じて東原中現役生徒の皆様と接する機会を得ました。リーゼント・長ラン・ボンタンのコワ〜いお兄さんが姿を消した校内に時の経過を感じつつ、礼儀正しく素直な生徒さん達をサポートしています。



33期 横田政直さん

私は、母校東原中学校での学習支援ボランティアに参加させて頂いています。38年前の卒業生なので代的に同級生の息子さんや娘さんの学習支援をすることもあり、当時のあだ名で呼ばれてビックリすることもありました。今後とも参加させて頂きます！

53期 大場匡子さん

英検の試験監督のお手伝いに参加していました。普段の生活では、中学生くらい年代とはまったく関わりがないので、若いエネルギーに圧倒されていました！私にとっては、生まれ育った地域で、これからの若者の成長を手助けできる貴重な機会でした。

18号で紹介した東原中学校学校支援本部の活動にボランティアとして多くの同窓生が協力して下さっています。

東原中学校長 小松進一



令和3年度も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のために年度当初の予定を変更して教育活動を行いました。縮小実施した運動会や合唱祭では、子どもたちの成長を感じることができました。保護者の皆様をはじめ地域の皆様のご理解とご協力には、心から感謝申し上げます。令和4年度もコロナ禍の中での教育活動となりますが、『自由と責任』の校風を継承・発展させてまいりますので、引き続き、東原中学校同窓会の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

同窓会会長 大倉光男（18期）



会員の皆様には新型コロナウイルスの感染拡大で様々な影響を受けられたことと思います。心よりお見舞い申し上げます。本年3月に71回卒業生が1万名を超える同窓生に加わりました。これからの同窓会はSNS やホームページを利用して情報の発信やネットワークの拡大により同窓会活動の発展をはかり、多くの会員に母校東原に目を向けてもらえるように微力ながら取り組んで参ります。今後とも同窓会活動にご協力とご理解を頂きますようお願い申し上げます。

● 編集後記 ●

『北斗19号』では東原中学校卒業生1期から71期までの皆さまに同窓会の担う役割りをよりご理解、ご協力いただけるよう新しい取り組みをお知らせいたしました。今後も『北斗』の誌面やPDF版を通じて、東原中学校に通う生徒たちを支え、そして卒業生が想い出を温める場を作る同窓会でありたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

● 北斗19号 編集委員・名簿管理者

編集委員：大倉光男 原田直茂 大杉香代 石渡智行 駒井 聡
佐伯幸四郎 福島 勉
名簿管理者：大倉光男 佐伯幸四郎

杉並区立東原中学校同窓会会報
「北斗」19号 令和4年5月
東原中学校同窓会
杉並区下井草1-28-5 FAX. 03-3390-3588
編集責任者 大倉 光男
印刷：タイヨー美術印刷(株) 田中 和之 (38期)

事務局からのお知らせ

令和4年5月

同窓会誌「北斗」最新号をお届けいたします。(PDF版を下記同窓会ホームページにアップロードしましたので併せてご利用ください。) 昨年度も有志99名の方から319,000円の賛助金をお寄せいただき、おかげさまで北斗発行にこぎつけることが出来ました。皆様の母校に寄せる温かいお気持ちに心より感謝いたします。

さてご承知の通り、同窓会では皆様からの賛助金のみを元資として会誌「北斗」の発行及び在校生へのサポート活動(運動会用ハッピー・周年記念備品等寄付、式典献花…etc)を行っております。ただ裏面の収支報告にありますように近年収入の大部分が「北斗」の印刷・郵送代として使われているのが現状です。事務局としては今後貴重な賛助金を効率よく活用して、在校生サポートの比重をより増やしていく方針です。また現在2千名以上の会員に北斗を郵送しておりますが、それに対して賛助金を納入していただいた会員はその約1/20に満たず、より賛助金を納入しやすい環境を整える必要があると考えました。そこで以下の施策を実施すべく皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

▶ 来年度から紙版「北斗」の郵送を賛助会員のみとさせていただきます。

*賛助会員:過去5年間に一回以上賛助金をお寄せいただいた会員

▶ Eメールアドレスをご登録いただいた会員(賛助会員以外)にはEメールにてPDF版「北斗」を配信させていただきます。Eメールアドレスをお持ちの方は是非、事務局までEメールにてお知らせください(その際、卒年・期、3年次クラス、氏名を明記してください)。

なおご登録いただいた情報を他の会員又は外部に開示することは決してありません。

▶ 賛助金の送金をスマホ決済サービス(PayPayまたはLINE Pay)にて手数料無料で行えるようにいたしましたのでご利用下さい。(検索性IDは裏面参照。従来どおり銀行口座振り込みもできます。)引き続き会員皆様の力強いご支援をよろしく申し上げます。

同窓会ホームページ: <https://www.suginami-school.ed.jp/higashiharachu/dousou/dousou-top.html>

お問い合わせは、東原中学校同窓会事務局まで
住所: 杉並区下井草1-28-5
Eメールアドレス: hokuto.higashihara@gmail.com
TEL: 070-8982-7159



第18回 賛助金納入同窓生

99名 319,000円 (平均 3,222円)

令和4年3月31日現在

		敬称略		現姓表示		(太字:1万円以上)									
(1期 S27)	船津 英夫	(3期 S29 続)	市川 温意	(6期 S32)	平山 正徑	(7期 S33 続)	横田 修	(10期 S36)	田中 享子	(15期 S41)	秋山 康二	(21期 S47)	齋藤 真弓	(26期 S52)	鈴木 英理
	坂本 健		二瓶 健次		真下 進		長井 日俊		江川 隆子		岡田 眞理子		村上 佐記子		郡司 やよい
	川本 良		増田 れい子		山本 陽子		滝沢 清		稲田 欣也		船越 房江		原田 佐和子		山口 希代子
	田中 正春		木村 雄次		高橋 陽子		吉田 孝		渡辺 福富	(16期 S42)	(22期 S48)	(28期 S54)			
	熊野 節子	(4期 S30)			角井 侑子		水野 雅夫	(12期 S38)		(17期 S43)					
(2期 S28)	高田 満邦		小関 啓子		諏訪 喜代志	(8期 S34)			藤岡 加代子		榑原 眞一	(24期 S50)			
	衛藤 薄子		竹村 美智子		佐藤 兆史		菅原 都美枝		坪井 英雄		竹本 栄子		藤原 幸子		清水 勝利
	横山 観	(5期 S31)			門野 正士		板橋 将隆		上部 充子		藤島 久見子		田中 優子		高橋 鎌介
	長谷川 末廣		清家 絢子		上野 徹		太田 俊夫		菱田 郁子	(13期 S39)			近藤 敬		郡山 正子
	井上 穂子		安成 和至		白浜 斉		野間 節子		(14期 S40)		川口 裕章	(25期 S51)			
	延命 進		小笠原 良行		松本 征紀		和田 紀久子		小宇田 緑		(18期 S44)		石渡 智行		
	小林 茂行		富田 祐一		高田 弘子		廣瀬 衛彦		福尾 敏夫		小池 恭子		尾崎 一		
	殿村 正子		桜井 伝蔵		関沢 洋子	(7期 S33)		黒須 敏雄		大倉 光男					
	山科 紀久子		金子 十美代		中島 尚雄		渡邊 薫	(9期 S35)		齊藤 聰					
	佐々 宣				小川 靖子		乾 寿子		葩島 元	(20期 S46)					
					櫻田 孝子		田中 啓二				守谷 英雄				

同窓会学年幹事

この春新卒業生(71期 84名)の中から藤村俊輔さん、山本毅華さん、高橋文梧さん、竹元春さん4名が学年幹事に就任されました。学年幹事名簿は同窓会ホームページをご参照ください。

賛助金納入先

- ゆうちょ銀行 〇一九(ゼロイチキョウ)支店 当座 0406561 東京都杉並区立東原中学
- みずほ銀行 京橋支店 普通 2729854 杉並区立東原中学校同窓会
- 西武信用金庫 阿佐ヶ谷支店 普通 1087407 東原中学校同窓会
- スマホ決済

Line Pay

ID: higashihara_jhs

(まず友だち追加してください)



PayPay

ID: higashihara_jhs 又は 070-8982-7159

で検索して下さい。QRコードご希望の場合はEメールでお知らせください。

なお、送金の際には、下記例のように氏名と共に卒年・期情報をご記載してください。

例:昭和54年卒業、第28期の場合…28S54(平成の場合はSをHに)・お名前

令和4年3月31日

■第4号議案 令和4年度会計予算案

令和4年4月29日

令和3(2021)年度東原中学校同窓会決算報告

(令和3年4月1日~令和4年3月31日) 単位:円

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
新入会員入会金	38,000	会報印刷・発送費	448,919
賛助金	319,000		
決算利息	4		
小計	357,004	小計	448,919
前期繰越金	695,222	次期繰越金	603,307
合計	1,052,226	合計	1,052,226

新入会員数 76名

上のとおり報告します。

令和4年4月1日

会計 原田 直茂



以上の会計報告を監査した結果、適正であることを認めます。

監事 大杉 香代



駒井 聡



令和4(2022)年度東原中学校同窓会予算案(案)

(令和4年4月1日~令和5年3月31日) 単位:円

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
新入会員入会金	42,000	会報印刷・発送費	540,000
賛助金	300,000	事務費	30,000
小計	342,000	小計	570,000
前期繰越金	603,307	次期繰越金	375,307
合計	945,307	合計	945,307

概要

新入会員見込	84名	会報発行	2,300部
		6頁	
		白黒 2頁	2100部
		ハガキ 2400	2400部

●同窓会学年幹事（令和4年度） 各期順不同 敬称略 現姓表記

- (1期・S27) 中村 精良、五十嵐はるみ
(2期・S28) 加藤 昌俊、北澤専吉郎
(3期・S29) 小幡 実、小菅 和敏、鈴木 功一
(4期・S30) 内山 治俊、谷岡 勝年、小関 啓子
(5期・S31) 小笠原良行、輿水 直臣、桜井 伝蔵、渡辺 雄司
(6期・S32) 白浜 斉、諏訪喜代志 平山 正徑、眞下 進、山本 陽子
(7期・S33) 中村 功、船越 正義、山田 宗男、中村 鶴江
(8期・S34) 板橋 将隆、森 達郎、葭田 光三、堀江美喜子、布施 寿子
(9期・S35) 別府 良男
(10期・S36) 池田 秀彦、池田 秀彦、久世 康英、猪俣 澄
(12期・S38) 菱田 郁子
(13期・S39) 小松 啓一、笹井 章男、高島 修、西川美知子、渡邊多嘉子
(14期・S40) 竹下 英明、眞下 忠夫
(15期・S41) 野呂瀬民知雄、秋山 裕子
(16期・S42) 佐藤 光央、高橋 邦年、菱山 康雄
(17期・S43) 大場佐江子
(18期・S44) 大倉 光男
(19期・S45) 塚越 洋子、松田 文子
(20期・S46) 幡鎌 俊行 守谷 英雄
(21期・S47) 池川 陽子、原田佐和子
(23期・S49) 篠 守彦、堤 健吾、大野 雅子、田部 美樹
(24期・S50) 松苗 宏則、藤原 幸子
(25期・S51) 石渡 智行、佐伯幸四郎、駒井 聡、福谷みどり
(26期・S52) 佐野 道洋、宮城島正行、坂口 雅、鈴木 英理
(27期・S53) 石阪みどり、田中 深春、河西 良祐
(28期・S54) 上杉 茂夫、安達 知子、郡山 正子、中山 真理、福島 勉
(29期・S55) 村山 友佳、伊丹 由美、佐々木瑞江、篠 直余、染野 歌子、森崎 五美
(30期・S56) 児玉 裕、長谷川 徹、増田 剛、宮下 稔、伊藤 佳
(33期・S59) 輿水 忠之、佐藤 直秀、横田 政直
(49期・H12) 長島 淳一、野本 知章、佐藤栗里子、長谷川 智、丸山 和美、森 里美
(50期・H13) 外山 卓明、濱地 正志、斎藤 奈央、齊藤 葉月、杉山亜希乃
(51期・H14) 野林 正寛、福谷 洋介、山貝 和義、大場 悠子、林 ちひろ、平岡 千景
(52期・H15) 大塚 隆平、齊藤 美都、小林 健太、加藤 春日、平野 隆之、渡瀬恵理子 吉田 将
(53期・H16) 石原 康匡、松本 理紗、三浦 拓也、小林 愛美、藤田ちひろ、西池 公寛
(54期・H17) 本間 理、槇川 景子、春日 雄哉、廣瀬 友紀、堀池裕一郎、木村 花菜
(55期・H18) 鯉渕 敦博、柴田 さよ、多田 健人、生駒 早織、池川 広太、曾我 啓子
(56期・H19) 吉田 良之、眞中ひとみ、吉池 大樹、渡辺 樹里、辻本 翔太、大類 真喜
(57期・H20) 佐藤 堯、木村 眞子、榎本 康二、天野 聡子、阿部 圭介、山中佐和子
(58期・H21) 稲福 友佑、隅田 夏帆、大久保秀作、田畑 真実、高寺 泰陸、荒木 理沙
(59期・H22) 板倉 純、小林 睦、玉置 有生、重國 聖羅、中澤 和俊、浅見 凜

(60期・H23) 榎本 健介、藤野 大海、古谷 瞳子、山口佑理香、菅原 拓海、帆苺 正宗、小池 芽衣、森近 玲偉、加賀谷洸太、平野 一樹、古賀 愛海、清水 勇気

(61期・H24) 中島 俊平、小澤 捷子、三井 来人、飯本日菜子、滝口 航、小松 由佳

(62期・H25) 工藤 源輝、新村 優花、元持 正博、石原 佳奈

(63期・H26) 落合 拓海、中川 倫実、前田 慧美、田浦 直斗

(64期・H27) 駒崎 遼、服部 優斗、西川 亜衣、尾関 乃依

(65期・H28) 福島 遼、板谷俊太郎、松本日菜子、古谷 理子

(66期・H29) 依田 政茂、成田 陽亮、海老 愛美、一柳 美結

(67期・H30) 小寺 悠太、鈴木 聖奈、篠崎 眞、綿貫 来美

(68期・H31) 小宮山純平、八木 望、加納 祐輝、水澤 香織

(69期・R02) 浦本 琉司、清水那々実、村主 和也、逸見 貝華

(70期・R03) 君島 颯馬、釜口 桃佳、二宮 康祐、水野佐玖音、鈴木 郁己、矢萩 美生

(71期・R04) 藤村 俊輔、山本毅華、高橋文梧、竹元春

●同窓会役員（令和4年度） 敬称：略

名誉会長：小松 進一（東原中学校校長）

会 長：石渡 智行（25期 昭和51年卒）

副 会 長：福島 勉（28期 昭和54年卒）

書 記：駒井 聡（25期 昭和51年卒） 佐伯 幸四郎（25期 昭和51年卒）

会 計：草 淳子（24期 昭和50年卒） 藤原 幸子（24期 昭和50年卒）

監 査：大杉 香代（24期 昭和50年卒） 駒井 聡（25期 昭和51年卒）

顧 問：大倉 光男（18期 昭和44年卒） 原田 直茂（18期 昭和44年卒）